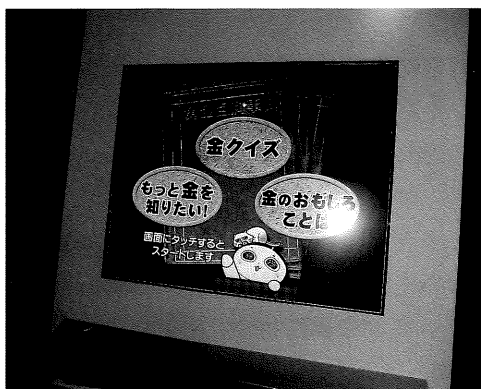
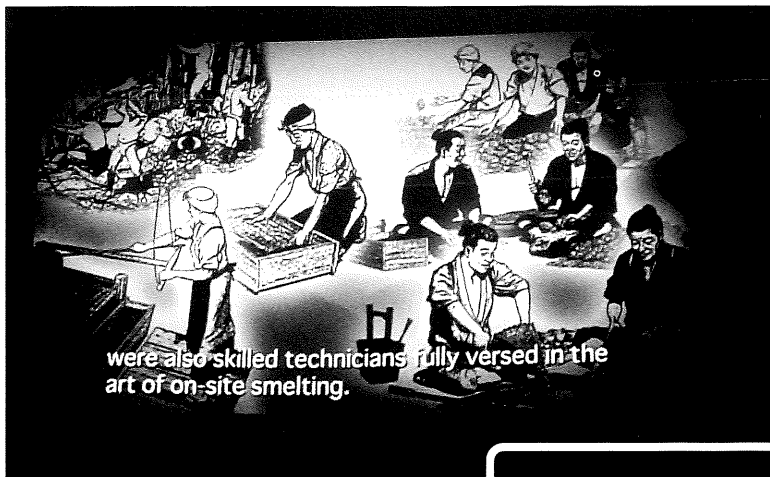


# 博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



## 常設展示室リニューアル！ 新映像を4月から公開

湯之奥金山博物館は、初源期の山金山遺跡の全容が良好な形で残された国史跡・中山金山遺跡のガイダンス館として、戦国時代の鉱山作業を広く紹介しています。

開館から15年目にして、奥山コレクション追加展示以来の大幅リニューアルが実現し、4月より一般公開の運びとなりました。新しくなったジオラマ展示室の映像、そして調査記録映像、タッチパネルクイズコーナーの刷新が完了しました！そしてさらに解説パネルも追加。内山・茅小屋測量調査の内容を大きく盛り込み、携わった全てのスタッフの皆様の努力の結晶とも言える大作です。

ぜひ、この機会に、新しくなった湯之奥金山博物館をご覧になりにおいでください。

# 開館 16 周年を迎え

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館長 谷 口 一 夫

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館は、平成9年4月24日に開館以来、満15年を経過、来る4月24日には16年目の活動期に入ります。この間、有料入館者277、163名（3月20日現在）をお迎えすることができました。この数にはイベント参加者などの数字は含まれず、実数は30万人に届くだろうと思います。来館者統計では京浜地区40%、東海地区40%、県内10%、それに北海道から九州までの都道府県から10%の来館者をお迎えしています。まずは、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

## わが国唯一の金山史専門館

金山博物館は、国指定史跡・甲斐金山遺跡ガイダンス館として、金山史研究、金山遺跡研究をベースとした、わが国唯一の専門館ですが、知る人ぞ知る有名館です。

平成元年当時から、町は「伝承でない本物の金山の歴史を解明し、その歴史（文化）遺産を観光資源として、下部温泉郷の活性化や町内全域を視野に入れた地域活性化と生涯学習に役立てたい」という、強い方向性が示されていました。

## 「ふるさと創生事業」で総合調査

そのため、平成元年～3年間「ふるさと創生事業」として、湯之奥3金山（中山・内山・茅小屋）のうち、最も金山としての遺構が良好に残されていた中山金山遺跡の総合学術調査を実施するに至り、昭和61年に始まった黒川金山（甲州市）同様、平成元年から3年間、考古学による発掘調査のメスが中山金山遺跡に入りました。加えて文献史学・民俗学・鉱山技術史研究者が参入して、総合的な切り口から、甲斐金山遺跡である中山金山の全容が解明され、日本における産金技術に於いて、砂金（含む柴金）採掘に代わる山金（金鉱石からの産金＝鉱石を粉成す道具の出現期）の産金形態が明らかとなり、15世紀末（1400年代末）とみられる初源期の山金山としての性格が明らかになりました。

## 平成9年「国史跡」に、同年「金山博物館」開館

平成9年には「甲斐金山遺跡」（黒川金山・中山金山）として、国指定史跡に指定され、同年、甲斐金山遺跡（湯之奥金山）のガイダンス館として、平成9年4月開館、以後、生涯学習機関として、観光拠点としての活動を実践し今日に至っています。

## 15年で30万人の来館者迎える

多くの調査時の出土遺物は、全て県指定文化財に登録されており、笛吹市・奥山家寄贈の古甲州金・新甲州金・江戸の大判小判は、身延町指定有形文化財となるなど、館建設時の目標であった「本物の歴史を展示公開する」目的は十分果たされ、30万人に及ぶ来館者数は、地域に多くの経済効果をもたらしてきました。

館の展示施設も16年目を迎えるにあたり、ジオラマ展示室など映像のリニューアルを図り、新たな視点で観賞できる受け皿づくりも進んでいます。

## 未来の来館者に繋がる数々のイベント開催

夏イベントも「こども金山探検隊」は全国から参加者が集まり、下部温泉郷を活用しています。また、一般の砂金掘り大会では、町内はじめ県内外からの参加者が競い合い、また、東西中高交流砂金掘り大会では、西の灘中高、（報徳中高）、東の開成中高、海城中高、大妻中高、（立教新座中高）、県内からは山梨学院中高、（駿台中高）、唯一の県立高である地元峡南高の参加で、熱い戦いが展開されています。※（ ）内は過去出場校。

参加生徒はこの大会を通じ、生徒間の交流を深めるばかりでなく、金山遺跡の研究を体感し、やがては未来の来館者にも繋がります。宿泊地も下部温泉郷であり、彼らに金山のまち「身延町」を知って貰う良い機会にもなっています。

16周年を迎えた今、展示構成の充実を進め、数々の博物館イベントもさらに進化させながら、取り組んで行きたいと思います。

（前号訂正）前号「館だより59号」2P左18行目「寛政3」→「寛正3」、2P右30行目のルビ「戸浄山」（へのじょうざん）

## 活 動 報 告

### 平成23年度公開講座「黄金の国ジパングの謎解き」終了 2月4日(土)

昨年10月から、全5回にわたって開催して参りました平成23年度公開講座が、2月4日(土)の眞保昌弘先生(なす風土記の丘資料館学芸員)の講義を最後に、好評のうちに閉会となりました。

今年度は、『黄金の国ジパングの謎解き"8～16世紀の産金地を追って～"』と題し、各講師の先生方にお話しただいてきましたが、まさに金山史の空白期間の謎解きに必要なお話ばかりで、ここで得られたヒントをパズルのように組み合わせていくと、新たな歴史事実がまた少し判明していくはずです。

毎講座、県内外からおよそ30名以上の聴講者の方がご聴講くださり、また先生方も遠方よりご足労いただきまして、多くの皆様に感謝しつつ、本年度講義を終了いたしました。24年度は

諸事情により公開講座を休止させていただきましたが、また何らかの機会や事業を通して皆様に学習・研究の場をご提供していきたいところで、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。なお、この成果の蓄積は『金山史研究』にて発表して参ります。



2月4日 眞保先生の講義の様子

### キラキラ！シルバーアクセサリー作り体験教室 第2弾 2月12日(日)

昨年の12月に「キラキラ！シルバーアクセサリー作り教室」の第1回目が開催され、その様子は、『館だより59号』でもお伝えしたところですが、今回は2月12日(日)に行われた第2回目のご報告です。

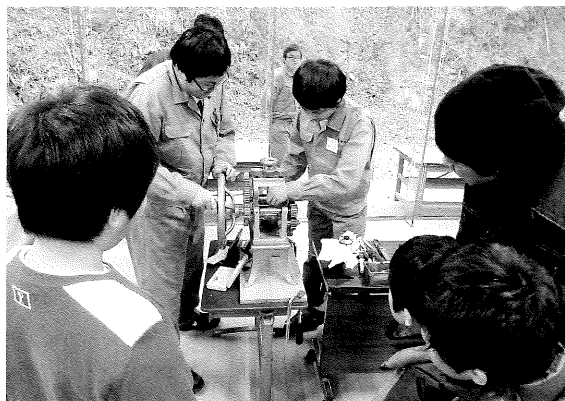
12月と同様、この教室で指導に当たってくれたのは地元・山梨県立峡南高校の生徒と先生方。指導スタッフには、こうした体験指導型の事業が今後も継続できるよう、人材育成の意味も含めて、異なる学年の学生達が選抜されてきています。

何回も指導していることで経験を重ねている学生は手慣れており、初めて参加する学生は、次は自分たちが指導しなければという責任感もあり、お手伝いしながらも先輩達の動きをよく観察していました。

今回も午前・午後ともに定員に達して、その参加者の中には地元の中学生も申し込んでおり、思い思いのシルバーアクセサリーの製作に没頭していました。

参加者の皆さんが作っていたアクセサリーデザインにハートが多かったのは、バレンタインデー・ホワイトデー前ということもあったせいかもしれません。

この体験教室は、博物館と地元学校との連携事業として、来年度も開催していきます。いつも参加したいのになかなか参加出来ない、という方も、次回は是非ご参加いただけるよう、12月、2月あたりの博物館の事業をチェックしててください。



## 平成23年度もたくさんの子どもたちが訪れてくれました！

寒い冬が終わりサクラの咲く頃になると、各学校で行われている授業の一環で、生徒達が自身で見学ルートを下調べ・事前学習して自分たちでコース巡りを計画実施する「県内めぐり」や「ふるさと巡り」、「町内学習」が始まり、博物館にも多くの子供達が来館してくれます。この2・3月には、身延小学校や下山小学校、富士豊茂小学校の児童、甲西中学校や増穂中学校の生徒達が来館してくれました。2階展示室では、金山の歴史や戦国時代の鉱山での作業、そこに暮らした人々の生活の様子を学習し、1階の体験室では砂金採り体験を満喫。

多くの生徒達が砂金採りの楽しさに大ハマリで、次には家族を連れて遊びに来てくれるというケースも少なくありません。今年度も是非、博物館を学習の機会にたくさん利用してください！



2階展示室では、真剣にお勉強。



夢中になると、お腹の辺りは服がビショビショに…。

### 平成23年度(平成23年4月～24年3月) 利用学校 (順不同)

原小学校、下部小学校、大和小学校、里垣小学校、石和西小学校、湯田小学校、泉小学校、国母小学校、久那土小学校、西島・静川小学校・下山小学校、鰺沢中学校、玉穂中学校、白根勅使中学校、白根巨摩中学校、若草中学校、双葉中学校、松里中学校、押原中学校、竜王中学校、敷島中学校、文教大学附属中学校、久那土中学校、身延小学校、豊茂小学校、甲西中学校、増穂中学校、日下部中学校、浅川中学校、都留文科大学、中富中学校、開成学園、大妻女子中高等学校、甲西中学校、他

## 平成23年度博物館運営委員会開催

3月12日(月)

平成23年度湯之奥金山博物館運営委員会が、去る3月12日に開催されました。

23年度は博物館にとっても遺跡の現場も大きな自然災害に見舞われ、多難の年だったと言えますが、スタッフの努力や周囲の方々の手助けによってこれらのピンチを乗り越えることが出来ました。そんな状況も踏まえて23年度の博物館運営状況ならびに事業報告、そして新年度事業計画を報告した上で、今年度最大事業として進めてきた、常設展示映像リニューアル事業の報告と映像試写を行いました。

委員の先生方からは「少人数スタッフでこれだけの事業をよくこなしていると思う」という率直な感想と共に「次年度も変わらず頑張ってください」という励ましの言葉をいただきました。

た。またリニューアル事業についても、「これだけのものを製作して下さったことに感謝します」という有り難いお言葉をいただきました。



館内を視察する運営委員の皆様。

## 常設展示リニューアル！みんな見に来てください！！

湯之奥金山博物館は、平成9年の開館以来、国史跡・湯之奥中山金山遺跡のガイダンス館として、戦国時代の鉱山作業を、分かりやすい解説と出土遺物や現物資料による展示、合わせて映像展示によって広く紹介して参りました。全国的にもなかなか鉱山研究が進まない中で、この湯之奥3金山のうちの内山・茅小屋両金山の調査も同様に進んでいなかったことは、関係者にとって大変懸念事項でした。

しかし、平成21年に遺跡の正確な位置や全体像の把握を目的とした「茅小屋金山遺跡測量調査」、翌22年に「内山金山遺跡測量調査」が実現し、採鉱域や坑道、そして鉱山白に代表されるおびただしい数の鉱山道具など、歴史的新発見も多々あったことは、先の測量調査報告会において発表したとおりです。

しかし、この成果や結果を、“常に”広く皆様に知っていただくためには、常設展示をグレードアップすることの必要があると考えていたそんな矢先、奇しくも“住民生活に光を注ぐ交付金”という財源を獲得することが出来、1年間かけて調査記録映像、およびジオラマ展示映像、常設展示パネルの追加、クイズコーナーの刷新準備を進めて参りました。

開館以来、ジオラマ映像、ならびに調査記録

映像共に、お客様に分かりやすい戦国金山の姿や作業の様子を伝えてきましたが、実に15年ぶりに新規製作。ジオラマ映像は、従来のものより、さらにわかりやすさとリアル感を追求。調査記録映像には、新たに毛無山の空撮映像、そして険しい現場である茅小屋金山、内山金山の撮影敢行&坑道撮影も成功。より深みと説得力と迫力のある映像に仕上がりました。

また、今までも子どもたちに大人気のタッチパネル式クイズコーナーも“おもしろ言葉”や、“もっと金を知りたい！”、“金クイズ”など内容も充実させて新機種を導入。

さらに、常設展示室壁面には、内山・茅小屋金山の調査報告の内容を盛り込んだ展示パネルも新規設置。すべてが調査から制作まで広くたくさんの関係者にご協力いただき出来上がった、努力の結晶です。

いよいよサクラの季節に合わせて、一般公開の運びとなり、博物館展示リニューアルということになります。この機会に、ぜひご来館ください。

そして、このたび、完成に至るまで、大変なご尽力くださった関係者の皆様に、この場を借りて深く御礼申し上げます。



お世話になった皆様(順不同): (株)アドプレーン社制作部、(株)テレビ山梨営業本部・UTY企画、(株)テクノプランング、(株)K2ONE、井澤英二氏、西脇 康氏、中西哲也氏、秋山圭子氏、湯之奥金山博物館応援団、身延町ならびに身延町教育委員会、その他、ここに挙げきれない関係各所の皆様に深甚なる謝意を表します。

## 館からお知らせ①

湯之奥金山博物館開館記念事業！見学バスツアー参加者募集  
山梨県立博物館「ウクライナの至宝展～スキタイ黄金美術の煌めき～」 &  
釈迦堂遺跡博物館「企画展“国の華 甲斐国分寺跡のすがた”」に行こう！

### ★湯之奥金山博物館開館 16 周年記念★ 「ウクライナの至宝展」 & 釈迦堂遺跡博物館 見学バスツアー

期 日：平成24年4月22日（日）

午前8時30分 集合～午後4時 解散

- 集合・解散：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
- 見学場所：山梨県立博物館 & 釈迦堂遺跡博物館（説明：秋山圭子学芸員）
- 定員：20名
- 締め切り：平成24年4月20日（金）まで。または定員になり次第。
- 参加費：1,000円 ※昼食は各自で取っていただきます。
- 募集対象：一般 ※年齢不問（お申込時には、参加される方全員のお名前、ご住所、電話番号をお伝えください。お申し込みいただいた方には、見学会前日までに詳細な日程表をお送りさせていただきます。）
- 持ち物：筆記具・酔い止め薬など、個人的に必要なと思われる物。

#### 博物館見学バスツアーのみどころ！

来る4月21日、湯之奥金山博物館は平成9年4月の開館から、16年目に突入します。この開館日を記念して、今年は見学バスツアーを開催する運びとなりました。

黒海北岸、現在のウクライナに数多くの古墳を残したスキタイ人。この古墳から出土する豪華な金製の副葬品は、高い美意識によって完成されたスキタイ独特の造型感覚にあふれ、美しいうえに、スキタイ人の謎を解き明かす貴重な資料にもなっています。

ウクライナの独立20周年並びに日本との外交関係樹立20周年となることを記念して、ウクライナから門外不出といわれた国宝級の資料を含めた遺物223点によって、東西文化が去来したこの国の歴史や文化を紹介する、黄金きらびやかな山梨県立博物館の企画展。

また、釈迦堂遺跡博物館が所蔵・管理している土偶・土器・石器など5,599点は国重要文化財。そのうちの土偶7点は、イギリス大英博物館で開催された「POWER OF DOGU」展に展示されました。世界的に注目されている貴重な資料なのです。そんな土偶たちを、改めて学習出来る良い機会。

いずれの見学の際にも、ご担当の専門学芸員さんたちからの解説をいただくことが出来ます。また、釈迦堂遺跡博物館の位置する一宮は桃の花の名所。もしかしたら、一面に広がる美しいピンク色の桃畑を一望することが出来るかも…？春の散策と洒落込んで、知的好奇心も満たしましょう。

行ってみたいけど、自分ではなかなか…という方、足腰が弱いから、イベントに行きたいのに行けない、遺跡見学会と違って山登りをすることはありませんので、お気軽にご参加いただけますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

■すべての申し込み・問い合わせ…湯之奥金山博物館

Tel 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003まで

## 館からお知らせ②

### ～5月から9月までは夏時間になります～

午前9時～午後6時まで（受付は午後5時30分まで）

いよいよ5月から夏時間となります。ゴールデンウィークは、4月26日（木）～5月8日（火）までの期間中は無休開館となります。開館時間や開館日をお間違えにならないよう、多くの皆様のご来館をお待ちしております。

※ゴールデンウィーク期間中、受付にてチケットご購入時に、小学生以下のお子様には、もれなく“宝石すくいゲーム”のチャンスがあります。また、砂金採り体験室では、砂金以外にレプリカ小判が発見できるかもしれません。見つかった小判はお持ち帰りできます。

## しもべおんせんまつり

期日：平成24年5月19（土）、20日（日）

場所：1日目：松葉杖供養祭 他 於 湯之奥金山博物館専用駐車場

2日目：下部温泉郷 熊野大神社例大祭（太々神楽奉納） 於 下部温泉郷熊野神社

昨年は東日本大震災の直後で中止となった「しもべおんせんまつり」ですが、今年は開催いたします。1日目は松葉杖供養祭、2日目は、伝統ある荘厳な神楽の奉納をご覧ください。下部の湯にゆっくりと浸かって、のんびりくつろぎにおいでください。

●松葉杖供養祭……奇祭と言われる松葉杖供養祭。人々の煩惱を振り払うかのように、春の夜空に立ち上る炎の様子は、しばし世俗を忘れるほどです。当日は、ほかにも出し物が用意されていますので、詳細の日程発表を楽しみにしててください。

●太々神楽奉納……伝統的に下部温泉に伝わる神楽で天尊降臨から始まり、大蛇（おろち）退治等楽しい場面がいっぱい。

※しもべおんせんまつりに関するお問合わせ先は、身延町観光課へ

〒409-2592 山梨県南巨摩郡身延町梅平 2483 番地 36 身延町観光課 TEL:0556-62-1116 ・ FAX:0556-62-1118

## 「しもべ黄金の足湯」も1周年を迎えました！

昨年の2月にオープンした「しもべ黄金の足湯」ですが、多くのお客様にご利用いただき、このほど1周年を迎えました。足湯に備え付けてある“感想ノート”も1年間で8冊目。博物館駐車場にありますので、掃き掃除、拭き掃除、そしてお湯を払って湯船の清掃と、毎日夕刻、博物館スタッフが清掃しています。ですから、「偶然来たら足湯があつて癒された」、「硫黄の匂いが落ち着きます」など、ありがとうという感謝の声がたくさん綴られていることは大変嬉しいことです。逆に「夏は熱すぎる！温度を下げてほしい」、「冬は温度が低い。温度を高くして欲しい」、「水深が浅い」などという声もいただきます。ただ、温度など自然のもので、ご理解いただいたうえで、ありのままの足湯をお楽しみいただきたいところです。

いずれにしても諸々ふまえて、今後ご利用いただく皆様に環境美化やマナーを守っていただき、ご理解とご協力をいただきながら、訪れる方が皆気持ちよい時間が過ごせる施設を維持していきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

多くの方がご利用くださっています。  
注！足湯に浸かりながらの喫煙は絶対禁止！



←しもべ黄金の足湯オリジナルデザインタオルは、金山博物館売店で販売中！お土産にもなりますヨ！

## 「もーん父さん」手作りフレームをいただきました

このたび、下部温泉郷の方が、右写真のような素敵な手作りオリジナルフレームをくださいました。ご本人のご希望でお名前は明かせませんが、手先が器用で、他にもいろんなフレームを作られており、地元の郵便局などに作品が飾ってあります。その作品の美しさに惚れ込んだ博物館スタッフが人づてにお願いしていたところ、忙しい合間を縫って作成してくださったわけです。当館オリジナルキャラクターの「もーん父さん」が笑顔で皆様をお迎えしています。



受付カウンターで皆をお迎え。  
キャッチコピーは「金(きん)ついでいいよね。」

## 博物館日誌 (平成23年9月～平成24年1月)

30日(金)	24日(土)	22日(木)	21日(水)	17日(土)	16日(金)	15日(木)	14日(水)	13日(火)	12日(月)	9日(金)	8日(木)	7日(水)	5日(月)	3日(土)	2日(金)	1日(木)	29日(水)	28日(火)	27日(月)	23日(木)	22日(水)	21日(火)	18日(土)	17日(金)	16日(木)	15日(水)	12日(日)	10日(金)	8日(水)	7日(火)	6日(月)	4日(土)	3日(金)		
『館だより60号』発行	親子映画観賞会	親子映画観賞会	休館日	休館日	下部温泉郷魅力作り協議会	下部温泉郷魅力作り協議会	甲西中学校東内巡回	甲府商工会議所研修会	休館日	4月10日まで観桜期無休開館	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他	『ワンピース珍獣島のチョコパター王国』他

### 編集後記

台風被害を受けて不通となっていたJR身延線も、このほど復旧し、去る3月17日から全線開通しました。「特急ふじかわ」も運行再開になりましたので、電車利用される多くのお客様が、再び下部温泉へ降りていただけるようになりました。この再開記念にJR東海ではスタンプリイイベントを企画しているそうですから、

ご興味のある方はご参加されてみてはいかがでしょうか？5月13日(日)。集合場所 JR下部温泉駅。受付時間 午前8時30分～11時20分。距離約10km。だそうです。詳細はJR東海のホームページに掲載されていますよ。

ということで、春爛漫。博物館の展示もリニューアルしましたし、とにかく多くの皆さんにおいていただきたいなと思います。

## 博物館だより 第60号 平成24年3月30日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003  
博物館HPアドレス [http://www.town.minobu.lg.jp/local\\_minobu/kinzan/index.html](http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html) 博物館Eメールアドレス [yunoking@town.minobu.lg.jp](mailto:yunoking@town.minobu.lg.jp)